



渡辺産業(蒲)が由比中へ

あいさつ運動幕を寄付

（株）渡辺産業（渡辺英之社長）が31日、母校の由比中学校（小長谷忍校長）へ、あいさつ運動の横断幕を寄贈した。これは、青少年の健全育成を目的としていて、同校が掲げている「心をつなぐ3ヶ条」を広めようと、連合自治会の申し出に同社が賛同し実現したもの。横断幕は全長7m、渡辺産業が贈ったあいさつ運動幕

「元気よく『おはよう』『心をこめて』ありがとう』『しっかりと』『ごめんなさい』という3ヶ条が記され、生徒たちのデザインやイラストを基に製作された。贈呈式には、渡辺社長（由比入山）、和田勝夫安全管理課長（由比）が訪れ、小長谷校長らに横断幕を手渡し、渡辺社長は「コロナで大変な時ですが、人と人とのつながりはなくならないと思っ」と話した。

開催もあるので問い合わせは同交流館（8376・0511）まで。小長谷校長は「生徒も率先してあいさつしていますが、学校の外や知らない人にもあいさつできるよう、活動を浸透させたい。早速生徒たちに披露します」とお礼を述べた。石切山政和連合自治会長は「企業と学校が協力して町づくりを進めるといふことに一石を投じられたと思う」と話した。横断幕は校門に設置された後、由比生涯学習交流館バルコニーに設置されている。

